

シリーズ
18
たか
高
ばたけ
畠

若い活力みなぎる地区



高畠区長
阿部修平さん
(55歳)

■ 月の「おじゃまします——地域情報ネットワーク」は、楽しいお盆も終え、これからがいよいよ秋本番。稻刈りにむけてその準備も忙しい高畠地区におじゃましました。

ここ高畠は、村の北端にあり、卷町に隣接して、高畠、車田、植野新田、の三つの離れた小字が集つて形成する特色をもつ地区です。

「ここから眺める弥彦、多宝の山脈は本当にきれいでしてね、季節によって変化する様は絵を見るようです。高畠のよさはこんなところにもあります。歴史的には梅田という小字もあるのですが、車田に含めて、この三つを高畠と総称しているんです。三角形の位置に離れていますが、どうして、みなさんの心

は円く、まとまりがあるんですよ。」と話してくれるのは区長の阿部修平さんです。岩室村の北の端で今でこそ道路の状況がよくなり、さほど距離感も気にならないが、小さいころは岩室までが遠く感じられたといいます。

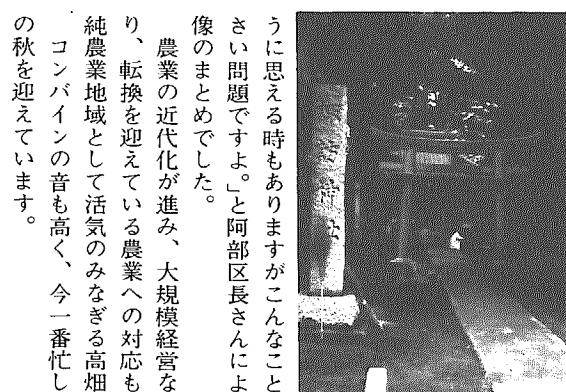
そのためかどうか隣接の卷町との交流は昔から深く、世帯の大部分が卷町に縁続きをもつてゐるそうです。現在でも車田地区的電話が卷局になつてゐる不思議(?)について区長さんは、

「たしか昭和30年頃だったと思いますが、不測の事態の連絡措置として、地区を挙げて運動をし、公衆電話の設置を実現させたんです。立地条件による自衛手段だったんですが他に電話がすぐない時代ですから大変なことだったんです。以来、車田地域だけが卷局となつてゐるんです。改めて先人の偉しさを思うとともに、今では誇りの一つにもなっています。」と歴史の思い出話の中にこの地域のもつ特徴的一面を伺いました。



車田地区の入口には地区公会堂と神社が建つ(写真上)
戸数が3戸と小さいけれど活気がある植野新田(写真下)

車田地区の入口には地区公会堂と神社が建つ(写真上)
戸数が3戸と小さいけれど活気がある植野新田(写真下)



高畠地区の守り神でもある諏訪様

高畠 ミニデータ

(人口と世帯)	
人口	189人
男	90人
女	99人
世帯数	34世帯

(平成元年8月1日現在)

うに思える時もありますがこんなことは、小さい問題ですよ」と阿部区長さんによる高畠のまとめでした。

農業の近代化が進み、大規模経営などにより、転換を迎えている農業への対応も早く、純農業地域として活気のみなぎる高畠……。

コンバインの音も高く、今一番忙しい収穫の秋を迎えています。



■ 展示期間：八月十五日～九月三十日
十日まで ■ 作者：山田慶二さん(吉田町)

北陸街道スケッチ展

8月15日～9月30日

く、その道すじは都に通じています。この道すじは、時代とともに変遷してきたことだと思います。都を追われた悲運な人。都に愛した人を訪ねてのぼる人。街道に沿つて働く人。

16